

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会

第 10 回総会議事録

- 日時：平成 29 年 6 月 17 日（土）13:30～15:00
- 場所：沖縄空手会館 研修室
- 出席： 14 名、委任状・議決行使権：48 名
- 議長団：会長（中野義勝）、議長（木村匡、WWF ジャパン（鈴木倫太郎））、事務局（沖縄県環境部自然保護課・津波昭史）、運営委員（沖縄県環境科学センター・山川英治、キュリオス沖縄・仲栄真礁）
- 議事録署名人：沖縄県立博物館・美術館（山崎仁也）、沖縄県衛生環境研究所（金城孝一）

有効会員数（規約第 7 条の規定による議決権を有する会員）85 名中、14 名の出席者及び委任状または議決行使権送付者 48 名、合計 62 名により、成立要件である会員の過半数を満たしたので総会が成立し、事務局より提出された議案を協議した。

【アンダーライン部分が理事会での決定事項】

【「・」は説明事項および提言事項】

【「→」は説明事項や提言事項に対する意見】

1. 第 1 号議案 平成 28 年度活動報告

平成 28 年度に行った以下の事業について事務局から説明があり、内容について会員に承認を受けた。

- (1) 理事会及び総会の開催、交流会の実施
- (2) 第 8 回わたしのサンゴ礁イメージ展の実施
- (3) サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業
- (4) サンゴ礁ウィーク 2017 の実施
- (5) 後援、共催、協賛
- (6) ホームページの維持管理
- (7) 各委員会からの活動報告

2. 第 2 号議案 平成 28 年度収支決算報告

平成 28 年度収支決算報告について、事務局から以下のように説明があり、会員からの承認が得られた。また、規約 14 条第 3 項に基づき、監査役の鹿熊信一郎 氏と沖縄県漁業連合会（賀数基和氏）によって平成 28 年度の会計監査が実施され、関係帳簿及び預金通帳等を元に適正に管理運営されていることを確認済みであると報告された。

歳入	項目	28年度予算	28年度決算	備考
	寄付金収入合計	200,000	572,274	
	沖環科		(24,000)	寄付金内訳
	洋服ポスト		(178,274)	寄付金内訳
	シャボン玉石けん		(150,000)	寄付金内訳
	全県高校生代表者会議グリーンデー募金		(220,000)	寄付金内訳
	助成金	0	0	
	受取利息合計	3,300	263	
	一般会計	300	(23)	受取利息内訳
	アラムコ基金	3,000	(240)	受取利息内訳
	雑収入	0	19,784	支援金返金
	前期繰越金合計	18,493,987	18,493,987	
	一般会計	(2,040,289)	(2,040,289)	前期繰越金内訳
	アラムコ基金	(16,453,698)	(16,453,698)	前期繰越金内訳
	アラムコ基金外貨口座	\$13.40	\$13.40	
	合計	18,697,287	19,086,308	
		\$13.40	\$13.40	

歳出	項目	28年度予算	28年度決算	備考
	アラムコ助成事業	3,002,000	2,932,220	
	助成金	(3,000,000)	(1,369,290)	助成事業内訳
	助成金(未払金)		(1,500,000)	助成事業内訳
	活動費(振込手数料など)	(2,000)	(4,320)	助成事業内訳
	旅費	(0)	(48,610)	毎日メディアカフェ
	謝金	(0)	(10,000)	毎日メディアカフェ
	事業費	1,160,000	947,822	
	那覇空港写真展	(100,000)	(98,340)	活動費内訳
	イメージ展	(50,000)	(40,000)	活動費内訳
	広報資料作成	(100,000)	(0)	活動費内訳
	サンゴ礁ウィーク	(690,000)	(708,294)	活動費内訳
	サンゴ礁ウィーク実行委員会旅費	(200,000)	(82,580)	活動費内訳
	振込手数料	(10,000)	(13,608)	活動費内訳
	その他	(10,000)	(5,000)	活動費内訳
	一般会計費	1,658,000	1,603,033	
	1.会議費	50,000	60,385	
	2.消耗品費	0	0	
	3.旅費交通費	598,000	600,438	
	理事会	(548,000)	(225,132)	旅費交通費内訳
	委員会	(0)	(151,706)	旅費交通費内訳
	審査会	(50,000)	(27,000)	旅費交通費内訳
	その他	(0)	(196,600)	
	4.謝金等	50,000	0	
	5.通信費	50,000	34,800	
	6.雑費	10,000	7,878	
	7.委託費	900,000	899,532	
	次期繰越金	12,877,287	13,603,233	
	一般会計	(1,422,589)	(81,515)	次期繰越金内訳
	アラムコ基金	(11,454,698)	(13,521,718)	次期繰越金内訳
	アラムコ基金外貨口座	\$13.40	\$13.40	
	合計	18,697,287	19,086,308	
		\$13.40	\$13.40	

財 産 目 録

平成29年3月31日現在
(資産の部)

I 流動資産

1 現金及び預金

1 現 金 82,518 82,518 円

2 預 金

(1) 普通預金 一般会計口座 998,997

(2) 普通預金 アラムコ口座 14,021,718

(3) 普通預金 外貨口座 (ドル) 13.40

15,020,715 円

13.40 ドル

資産の部合計

15,103,233 円

13.40 ドル

(負債の部)

I 流動負債

1. 助成金未払

1,500,000

負債の部合計

1,500,000 円

(正味資産の部)

正味資産

13,603,233 円

13.40 ドル

<助成金内訳>

平成25年度助成事業

	助成額	概算払	支払日	精算払い	支払日	合計
宮古島マリンリゾート協同組合	320,000	0	-	181,000	2014/10/24	181,000
ナンハナリサンゴ調査会	600,000	0	-	515,455	2014/11/5	515,455
海の自然史研究所	600,000	300,000	2013/12/10	300,000	2015/1/6	600,000
グローイングコーラル	600,000	300,000	2014/3/27	169,290	2016/12/27	469,290
合計	2,120,000	600,000	-	1,165,745	-	1,765,745

平成26年度助成事業

	助成額	概算払	支払日	精算払い	支払日	合計
海の自然史研究所	600,000	0	-	600,000	2016/5/23	600,000
海辺の環境教育フォーラム2014 in 沖縄 実行委員会	520,000	260,000	2014/10/17	-2	2015/5/11	259,998
沖縄リーフチェック研究会	600,000	300,000	2014/12/9	257,870	2015/10/20	557,870
合計	1,720,000	560,000	-	857,868	-	1,417,868

平成27年度助成事業

	助成額	概算払	支払日	精算払い	支払日	合計
海辺の生き物を守る会	600,000	300,000	2016/2/24	300,000	2017/2/21	600,000
合計	600,000	300,000	-	300,000	-	600,000

平成28年度助成事業

	助成額	概算払	支払日	精算払い	支払日	合計
わくわくサンゴ石垣島	600,000	0				-
海の生き物を守る会	600,000	300,000	2017/4/13			300,000
泡瀬干潟を守る連絡会	600,000	0				-
合計	1,800,000	300,000	-	0	-	300,000

未払金合計 1,500,000

平成28年度財産目録には、平成28年度助成事業の未払金1,500,000円を計上している。

3. 第3号議案 平成29年度事業計画(案)

平成29年度事業計画について事務局から以下の活動計画の説明があり、会員の承認が得られた。

- (1) 理事会及び総会の開催、交流会の実施
- (2) 第9回わたしのサンゴ礁イメージ展の実施
- (3) サンゴ礁ウィーク 2018 の実施
- (4) サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業
- (5) ジュニアサンゴレンジャー事業(アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金)
- (6) 那覇空港写真展
- (7) ホームページの維持管理
- (8) 後援、共催、協賛
- (9) 出版事業
- (10) その他活動に必要な事項
 - ・ 広報資料等の作成

4. 第4号議案 平成29年度収支予算(案)

平成29年度収支予算について事務局から以下の活動計画の説明があり、会員の承認が得られた。

<補足説明>

平成29年度に予定しているアラムコ・アジア・ジャパン株式会社からの寄付は、既存の「サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金」とは別に管理することが寄付の条件となっている。そのため、新たに「アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金」を設立し、ジュニアサンゴレンジャー事業の予算として運用する。

<会員からの質疑・コメント>

- ・サンゴ礁ウィークの支出で沖縄タイムスに限定した広告費が計上されているが、広告依頼を特定の企業にのみ出すということか。
→沖縄タイムスは前回のサンゴ礁ウィークで共催に入っていた。通常、共催事業を行う場合は広告費をいただいているとのことだったが、前回は特例として無料の広告枠を活用させて貰う形で対応いただいた。次回も引き続き共催に入いただくために、予め共催のための広告費を計上している。
- 広告依頼については、前回は沖縄都市モノレール様にも中吊り広告を依頼した。

<平成29年度収支予算(案)・歳入>

歳入	項目	28年度決算	29年度予算	備考
	寄付金収入合計	572,274	200,000	
	沖環科	(24,000)		
	洋服ポスト	(178,274)		
	シャボン玉石けん	(150,000)		
	全県高校生代表者会議グリーンデー募金	(220,000)		
	アラムコ寄付		5,000,000	アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金
	助成金	0	0	
	受取利息合計	263	330	
	一般会計	(23)	(30)	
	サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金	(240)	(200)	
	アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金		(100)	
	雑収入	19,784	0	
	前期繰越金合計	18,493,987	13,603,233	
	一般会計	(2,040,289)	(81,515)	
	アラムコ基金	(16,453,698)	(13,521,718)	
	アラムコ基金外貨口座	\$13.40	\$13.40	
	合計	19,086,308	18,803,563	
		\$13.40	\$13.40	

※1ドル=100円で換算
「沖環科」：沖縄県環境科学センター

<平成 29 年度収支予算（案）・歳出>

歳 出	項 目	28年度決算	29年度予算	備考
	アラムコ助成事業	2,932,220	3,490,000	サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金
	助成金	(1,369,290)	(3,000,000)	
	助成金(未払金)	(1,500,000)		
	助成発表旅費		(150,000)	
	活動費(振込手数料など)	(4,320)	(10,000)	
	毎日メディアカフェ旅費	(48,610)	(300,000)	
	毎日メディアカフェ謝金	(10,000)	(30,000)	
	ジュニアサンゴレンジャー事業		1,010,000	アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金
	ジュニアサンゴレンジャー支援		(500,000)	
	ジュニアサンゴレンジャー旅費		(500,000)	
	活動費(振込手数料など)		(10,000)	
	事業費	947,822	2,265,000	
	那覇空港写真展	(98,340)	(100,000)	
	イメージ展	(40,000)	(40,000)	
	広報資料作成	(0)	(200,000)	
	サンゴ礁ウィーク	(708,294)	(1,700,000)	沖縄タイムスへの広告費50万円含
	サンゴ礁ウィーク実行委員会旅費	(82,580)	(200,000)	
	振込手数料	(13,608)	(20,000)	
	その他	(5,000)	(5,000)	
	一般会計費	1,603,033	3,590,000	
	2.会議費	60,385	80,000	
	3.消耗品費	0	50,000	
	4.旅費交通費	600,438	550,000	
	理事会	(225,132)	(250,000)	
	委員会	(151,706)	(50,000)	
	審査会	(27,000)	(50,000)	
	その他	(196,600)	(200,000)	
	5.謝金等	0	50,000	
	6.通信費	34,800	180,000	
	7.雑費	7,878	10,000	
	8.委託費	899,532	2,670,000	
	沖環科	(414,720)	(420,000)	アラムコ助成事業
	キュリオス沖縄	(484,812)	(650,000)	サンゴ礁ウィーク
	NPO法人化		(500,000)	
	ジュニアサンゴレンジャー		(600,000)	
	出版物作成		(500,000)	
	次期繰越金	13,603,233	8,448,563	
	一般会計	(1,081,515)	-(4,573,455)	
	サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金	(12,521,718)	(9,031,918)	一般会計へ500万円
	アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金		(3,990,100)	一般会計へ60万円
	アラムコ基金外貨口座	\$13.40	\$13.40	
	合 計	19,086,308	18,803,563	
		\$13.40	\$13.40	

「沖環科」：沖縄県環境科学センター

5. 第5号議案 法人化について

・事務局より協議会の法人化について将来委員会で議論した内容と理事会で承認された方針が報告され、会員の承認が得られた。

- ・法人化すると会員の立場を維持できない団体もあるため、引き続き理事会で検討していく。
- ・将来委員会が設立された目的（情報交換と、それぞれの保全活動の活性化）は、法人化されることでどのように解決するのか。

→現在の協議会の活動は、事務局や理事のボランティアに頼る部分が大きく、各理事の負担感も大きくなっている。法人化することで、ボランティアの負担を減らし、理事にも責任が伴うことで協議会の活動の活性化につながると考える。

→法人化することで社会的な信用が高くなり、協議会から発信される情報の信用度も増し、参加している会員にもメリットとなると考える。

6. 第6号議案 その他

会員より協議会の運営に対するご意見や会員が抱えているサンゴ礁保全における課題等の共有を行った。

- ・モズクの生産に関わっているが、ここ数年不作が続いている。原因はまだ明確にわかっておらず養殖現場付近でモニタリングを行うようにしている。このようなモニタリングに対して支援をしていただけないか。

→当協議会で実施しているサウジアラムコ助成事業を活用してほしい。次回から上限額が100万円に引き上げられ、これまで以上に支援を強化した。

- ・一部の水産事業者の意識が低いように思える。水産系の団体を巻き込んで保全の重要性を共有して一緒に協働できるようになるとよい。

- ・2点提案がある。まず1点目は、総会の休日開催ではダイビング事業者が参加しにくいので平日開催を検討してほしい。2点目は参加の難しい遠隔地でも情報共有できるように、交流会のオンラインでの公開を検討して欲しい。会員利益を拡大していき、もっと若い人材が参加しやすいようになるとよい。

→協議会としても離島での交流会開催をできればと考えていた。より多くの会員と情報共有できるように方法を模索して実践していきたい。その際にはぜひ協力してほしい。

以上